

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

通信

八幡堀界隈
版

2016 Vol.9

知って得して、見て得して、町の歴史



八幡堀と町衆の430年の道のり(8)

近江八幡開町の祖「豊臣秀次」(とよとみひでつぐ)

八幡山城下町から在郷町へと、八幡の発展を支えたのは、八幡堀が琵琶湖水運に直結したからです。八幡堀は約430年の町の歴史と町衆の歩み、そのものなのです。

八幡堀は天正十三年(1585)に八幡城の築城によって外堀の役目を果たすと同時に船を通わす掘割として開削され城下町として体制が整えられたと伝えられています。

城は、山城(三峰分岐式完全石城)とし、山腹に設けた居館地(住居)は東西約300メートル南北100メートルの平坦部に安土桃山風の壮麗な殿閣・庁舎・庭園などをもつたと思われ、金箔の「五三の桐瓦」などがその面影を今に止めています。本丸・二の丸・西の丸・北の丸・出丸が配置され城壁は石壁をもつて覆われ一大要塞であったと推測されます。

天正十四年(1586)湿地帯であった城下を造成地にして、碁盤目状に縦十二筋・横四筋(六筋のところもある)の町の形態が出来上がると、廃都になった安土城下などの商人や職人を集め、城下町八幡を建設しました。

安土の掟書きとは似ていますが、「八幡山下町中掟書」十三カ条が発せられ、諸役免除(無税)・楽市楽座(自由市場)の特権を与え、琵琶湖と八幡堀を直結し、湖上を行き交う商船や商人は八幡堀に必ず入ることが決められ、安土の掟書きとは大きく違うところがあります。町の東二筋を鍛冶屋町・大工町など職人町、西十筋を商人町とし、仲屋町には仲買商人(問屋)を集め玉屋町、池田町の花街は西部の一角に、東の出入り口にあたる下街道に沿って手町や西の入口近くに板屋町、北末町には旅籠があったと言われ、町の発展に繋がっています。

春の訪れを告げる、国選択無形民俗文化財「左義長まつり」は八幡山城築に伴い、安土城下から移り住んだ町民たちが開いたと言われています。

明治六年(1873)「左義長祭礼再興願書」(真崎文庫)によれば、日牟礼八幡宮の祭礼には日牟礼十三郷が執り行う松明を奉納する千年以上の歴史があると言われている。国選択無形民俗文化財「八幡まつり」(4月14、15日)があり氏子として参加を申し出をしましたが、松明の奉納場所がなく、新参りのこと参加することが叶わなかった。「左儀帳をもつて祭礼の代わりとし、市中繁栄を祈り、ならびに火災を祓い候為に奉納」されたと言われ、町の経済繁栄の維持、町衆の結束を高める祭りとして、「左義長祭り」は発展していき、いわれが生まれました。

電柱や電線のない時代はかなり大きい左義長が制作されており、商人達の心意気が伝わり、今日まで伝承されています。

近江八幡の火まつりは無病息災、招福除災、五穀豊穣、集落安全など庶民の素朴な祈りが込められ、生きる私たちの1年の大きな節目や生きる証となって今日に継承されています。



クイズ

近江八幡の左義長は元来安土城下で行なわれていたもので、城主○○○○が自ら踊り出たと伝えられています。○○○○は誰でしょう。

抽選で5名様(申年根付け・絵はがき・熨斗袋・あふらとり紙等セット)

◆ご希望の方は答え○○○○・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。楽しい和雑貨を抽選でお送りします。

当選者の発表は発送をもってご了承下さい。(応募締切は3月5日)
〒523-0837 近江八幡市大杉町30の1(有) ほんぼの館 クイズ係
FAX 0748-32-3514



前回当選者の発表

答え：瑞泉寺
おめでとうございます！

堀上町	H.Aさん
堀上町	N.Aさん
千僧供町	N.Tさん
篠原町	M.Tさん
ひばり丘町(東近江市)	I.Mさん

個人情報の為、イニシャルで表記させて頂きました

お知らせ

現在、八幡堀では観光物産協会とびわ湖トラスト・ウィルステージ等が連携協力し、水質浄化を目指して試験的な取り組みがされています。皆様のご協力とご理解をお願いします。

4月10日(日) 会場 八幡堀界隈
時代劇の似合う町
近江八幡



(一社)近江八幡観光物産協会



左義長まつり

国選択無形民俗文化財

近江八幡

第64回左義長ダシコンクール優勝(為心町)

近江八幡市立資料館前(旧伴家住宅)では左義長ダシを常設展示をしています。

平成28年

3月12日・13日

ひむれ 日牟礼八幡宮及びその周辺
パーク&バスライド実施します!

公共交通機関での移動が困難など、やむをえずマイカーで左義長まつりへお越しの方は旧市民病院跡(市役所前)へ駐車しシャトルバスをご利用ください。
料金：1台につき300円(シャトルバス利用の場合) ※駐車のみの場合、料金は徴収いたしません

■後援 (公社)日本観光振興協会関西支部
■お問い合わせ 近江八幡観光物産協会 近江八幡駅北口観光案内所 TEL0748-33-6061

http://www.omi8.com

当ポスターに使用している写真は第58回左義長まつり写真コンクール入賞作品等です



トマト倶楽部
PRESENT

お誕生日・記念日 花束プレゼント (3月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

花王アタックネオ (詰め替え1本) ギフトセット 10名様

[トマトカード番号記入をお願いします]

- * ビアズリーと日本 滋賀県立近代美術館 3月27日迄 20名様
- * 歌川広重の旅 京都伊勢丹美術館「えき」 3月27日迄 20名様
- * 華麗なる美人画 佐川美術館 3月31日迄 40名様
- * 実相院門跡展 京都文化博物館 4月17日迄 10名様
- * かざり「信仰と祭りのエネルギー」MIHO MUSEUM 5月15日迄 40名様
- * 光紡ぐ肌のルノワール展 京都市美術館 6月5日迄 20名様
- * 伝統と革新 日本陶芸の今 陶芸の森陶芸館 6月12日迄 30名様
- * 山本読書室の世界 スクラップブック 10名様
- * 自分史づくり スクラップブック 10名様
- * なんでもスクラップ帳 10名様
- * 京都新聞オリジナル トートバック白 50名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の一品をご記入の上、官製はがき又はFAXでご応募下さい。抽選でお送りします。締切は花束、2月29日迄 洗剤、チケット等は3月5日迄 発送をもってご了承下さい。

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

八幡堀界隈のお店へ行こう! (クーポン券の有効は28年3月31日まで) www.hachimanbori.com/

和食

・赤の他人井 (後払い1,970円)
・和風 ローストビーフ丼 (後払い1,130円)
・近江牛すきやき (後払い1,100円)

クーポン特典
お食事された方にソフトドリンク (ウーロン茶/オーレンジジュース) 1杯サービス (1枚で4名様まで)

check

~3月6日まで冬期休暇
3月7日(月)より営業いたします

〒523-0837 近江八幡市大杉町24
営業時間/11:00~17:00 (16:30 LO)
定休日/水曜日 TEL 0748-32-5533

株式会社カワサキ
“レアウッドビーズ 美樹”
八幡堀 石畳の小路店

世界中の希少な樹『レアウッド』を使ったアクセサリーショップです。2階では3月14日までホワイトデー企画でイニシャル等、彫刻代無料でブレスレットが作れます。

手づくり所要時間 約30分
手づくり料金(税別)
ストラップ 1,000円~
ブレスレット 3,000円~
ネックレス 7,000円~

〒523-0837 近江八幡市大杉町12 八幡堀 石畳の小路
TEL 0748-33-5251 e-mail: info@rw-bijoux.jp
営業時間:10:00~17:00
定休日:定休日なし(2月のみ火曜日)

文久3(1863)年に創業以来、うち羊羹、ういろ餅、季節の和菓子を製造販売している和たしがお届けする新感覚カフェ

和たしのいっしょく ¥700

朝宮ほうじ茶パフェ ¥840

クーポン特典
10%OFF
喫茶
のドリンクアウト
リムを除外

check

〒523-0837 近江八幡市大杉町12
営業時間/11:00~17:30 (17:00 LO)
定休日/火曜日(祝日) TEL 0748-32-5295

選んでください
あなたの
かかりつけ
薬局に。

処方せん
日々のお薬、お悩み解決!!

Yakugo 薬局
www.yakugo.co.jp

【ぶーめらん店】 北之庄店
〒523-0892 近江八幡市北之庄町
TEL 0748-31-3465(代) 川東399-15
Fax 0748-31-3486 TEL 0748-33-1171(代)
営業時間/9:00~18:00 (木)9:00~17:00
(土)9:00~13:00 営業時間/9:00~17:00
定休日/日曜・祝日 定休日/日曜・祝日

日本一『遅い』乗り物 手漕ぎ和舟で八幡堀めぐり

国の重要文化的景観の第一号に選定された「近江八幡の水郷と八幡堀」は近江八幡観光のハイライトのひとつ。和舟に乗って舟上から昔ながらの商家や白漆喰壁・黒板塀の蔵屋敷をながめ近江八幡の歴史と文化の解説に耳をかたむけながら八幡堀をめぐります。

完全予約制
所要時間: 30分から40分
◇新町浜から幸円橋往復
料金: 大人 1,000円 (税別) 小人 500円
所要時間: 70分から80分
◇新町浜から中川橋往復
料金: 大人 2,000円 (税別) 小人 1,000円
定員: 6名 (小人:小学生) (詳細はお問い合わせ下さい) 0748-36-5115

地元工芸品や和雑貨がいっぱいの楽しいお店

草が食べられるお店

〒523-0837 近江八幡市大杉町30-1
営業時間/10:00~16:00 (土日祝17:00)
定休日/水曜日 TEL 0748-36-5115

ほのぼのの館
Gallery Space
新河原
八幡堀明治橋付近